学校番号	３０１３

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・篆・隷・行・草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、書で表現する能力を身につけます。
・現代生活に密着した書の表現を知り、創作活動に取り組みます。
・書が、日常生活の中に多く関わっていることに関心をもちましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の 技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品	観察 レポート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 ・ 5	篆書の学習	・漢字の起源である篆書の成立 ・金文の鑑賞と臨書 ・石鼓文の鑑賞と臨書 ・泰山刻石の鑑賞	○	○	○	○	a:篆書の成立とその表現技法に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:篆書の基本的な用筆方法である蔵鋒、中鋒を身に付け表している。 d:篆書の成立について理解し、複雑な造形のよさや美しさを味わっている。	観察(a,d) 提出作品 (b,c)
6	・隷書の学習	・篆書からどのように発展したのか ・曹全碑の鑑賞と臨書 ・乙瑛碑の鑑賞と臨書	○	○	○	○	a: 篆書からどのように発展したのかに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:隷書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:隷書の基本的な用筆方法である蔵鋒、波磔を身に付け表している。 d:現代生活における隷書の位置づけを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a,d) 提出作品 (b,c)
7 ・ 8	草書の学習	・流れるような勢いある表現を学ぶ ・書譜の鑑賞と臨書 ・自叙帖の鑑賞と臨書	○	○	○	○	a:草書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:字形や線質の多様な表現を工夫している。 c:変化に富んだ字形や、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:線の表情に様々な変化が出せることを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a,d) 提出作品 (b,c)
9	漢字の書の制作	・漢字一字書の制作 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、創意工夫し、意欲的に取り組もうとしている。 b:漢字の持つイメージに近づけるよう様々な表現を工夫している。 c:創造的な書表現にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察(a) レポート(d) 提出作品 (b,c)

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
10 ・ 11	篆刻・刻字の学習	篆書１～２文字を刻字板に転写し、刻す。	○	○	○	○	a:自分で書いた文字をさらに刻みつけることによって、どのような表現効果が出るのかに関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆刻のよさや美しさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:刀意・刻意を生かし、立体的効果を生み出す技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察(a) レポート(d) 提出作品(b,c)
12	生活の中の書	・お正月短冊飾り 仮名の書	○	○	○	○	a:現代生活における仮名の意義や、平安時代の流麗な文化について関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:お正月飾りの作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿の技法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察(a) レポート(d) 提出作品(b,c)
1 ・ 2 ・ 3	漢字仮名交じりの書の学習 裏打ち作業	・半切3分の1サイズの作品制作 語句の選定、文字調べ、草稿制作、清書、押印 ・作品を裏打ちし、パネルに貼って完成させる。 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、相違工夫し、意欲的に取り組もうとしている。 b:言葉の持つ力を大切にし、それに合う様々な表現を工夫している。 c:創造的な書表現にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察(a) レポート(d) 提出作品(b,c)

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。